



2009.7

No. 186

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)
1996年3月8日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

民主党・鳩山代表で政権交代を！

札幌で街頭集会と励ます会開催される

民主党鳩山代表が、6月27日、就任後初めて札幌入りし、大通公園4丁目の街頭集会(4千人)と「鳩山由紀夫さんを励ます会」(1300名)が開かれ、どちらも全道から大勢の人が集まり、「鳩山首相」誕生への期待の大きさが窺われた。

「励ます集い」には、道内各地から市町村首長・議員、企業・経済団体代表なども多数出席。実行委員会を代表して連合北海道高柳薫会長が、「鳩山代表の政治活動、とりわけ目前の目標が成就されるよう激励をいただきたい」と政権交代の期待を込めた挨拶の後、来賓の山本邦夫北海道副知事、北海道市長会新宮正志会長(室蘭市長)、北海道町村長会北良治常任理事(奈井江町長)、札幌商工会議所商工連盟青木雅典会頭、そして新党大地鈴木宗男代表が代表就任へのお祝いと今後の期待を込めた激励の挨拶が行われた。

これに応え鳩山代表は、「政権を取ることは民主党の一丁目一番地、スタートラインであり、新しい政治を実現し、日本の大掃除を行う」と、政権交代に強い意欲を示した。

最後に、次期衆議院選挙に出馬予定の民主党の候補予定者を紹介し、道内12選挙区で完勝して政権交代を実現することを誓い、「励ます会」を終了した。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/monthly_new_2009_0627_hatoyam.html



アジアの若手労組指導者が連合北海道を訪問！

国際労働財団(JILAF)の代表団

国際労働財団(JILAF)が労働分野における国際的な交流と協力を推進する目的で招へいしたアジアの若手指導者が連合北海道を訪れた。一行は、カンボジア、ラオス、マレーシア、香港、モンゴル、独立ネパール、パキスタン、フィリピン、東チモールの9カ国・地域から9名の代表団。札幌には6月21日～23日まで滞在した。

22日午前に連合北海道を表敬訪問した。村田事務局

長から「連合北海道の組織と運動について」報告のあと意見交換を行い、「若者の活動参加や女性の組合活動への参画はどうなっているか?」「組合員が減少しているのはどのような理由か?」など率直な質問が次々と出された。

午後には、上田文雄札幌市長を表敬訪問し、市長から「労働組合の果たす役割は大きい、お国でしっかり

頑張ってもらいたい」と激励された。また、ハローワークの視察では、雇用保険制度の仕組みや職業安定所の業務について説明を受けた。

23日には札幌市内にある札幌白石清掃工場を視察し、札幌市労清掃支部の役員とも意見交換を行った。

メンバーの一人である、ラオス労働組合連盟(LFTU)のレイ氏は「私たち皆にとって貴重な3日間となりました」と感想を述べた。それぞれの国は発展途上にあるが、労働分野での国際的な交流によって、相互理解

の進展とともに労働運動の社会的役割と国際連帯を確認することができた。また、訪問団は非正規労働者の増大などへの対応に苦戦している日本の労働運動や、原寸大の地方連合の活動も知ることができた。アジアの平和と労働運動の発展、そして労働者の権利の拡充に結びつくことを期待したい。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/monthly_new_2009_0701_jilaf.html



平和への思い新たに

2009平和行動in沖縄に参加

連合北海道は6月22日～24日、2009平和行動in沖縄に9名の団員で参加した。22日は北海道団の独自の行動として学習会を開催し、「基地被害の状況と住民の生の声」という題目で松田正二砂辺区自治会長から講演を受け、実際に砂辺区の米軍人・軍属の居住地区を視察した。次に「地位協定・米軍再編」について琉球新報政治部記者の滝本匠氏から講演を頂き、最後にひめゆり平和記念資料館資料委員・証言者の宮城喜久子さんから「沖縄戦の実情」の証言談を頂いた。特に、実際に学徒隊として沖縄戦を経験した宮城さんの講演は想像を絶するものであり、戦争の悲惨さをあらためて認識させられた。

23日は2009年平和オキナワ集会に参加した。第1部では那覇市青少年舞台プログラムによる舞台や、大学生による朗読劇などが行われた。また、第2部の記念式

典では、北海道団の三浦正道団長(連合北海道副会長)が「北海道も米軍移転訓練や米艦船の民間港入港など様々な問題を抱えている。特に訓練移転は嘉手納基地からではなく、岩国基地からの戦闘機であり、沖縄の痛みを分かち合うものではなかった。連合北海道としても在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の見直しに全力で取り組んでいく」と、平和メッセージを述べた。24日は<ぴーす・フィールドワーク>「戦跡コース」に参加し、アブチラガマ、ひめゆりの塔、平和の礎などを回った。前日の学習会で学んだ南部戦跡を実際に訪れることにより、参加者はより一層沖縄戦についての認識を深めることが出来た。

最後に県庁前広場で<米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本見直しを求める集会>に参加し、終了後、国際通りでデモ行進を行った。



「安心社会実現会議報告書」に関する事務局長談話(6月19日)

連合北海道事務局長 村田 仁

1 政府の安心社会実現会議(座長:成田豊電通最高顧問)が6月15日、最終報告書を麻生首相に提出した。「安心と活力の日本へ」と題した本報告書は、格差拡大や貧困の増大と併せて年金・医療など社会保障制度が機能不全に陥り、閉塞社会のなかで不安を抱える国民に対し、21世紀の国家像を明示しようとするものである。

報告書は、全生涯、全世代を通じての「切れ目のない安心保障」の構築をうたい、雇用・次世代・教育・医療・介護の5つの領域の連携が大事であるとしている。なかでも雇用を「5つの安心の扇の要であり、安心を活力につなげていくための起点」としているが、「労働を中心とした福祉型社会」の実現を求めてきた連合としては、極めて当然のことと受け止める。

2. そのうえで報告書は、安心社会実現のための「費用と財源を明示して堂々と議論すべき」とし、「『打ち出の小槌』があるかのようにふるまうべきではない」と野党を牽制している。一方、社会保障の機能強化にかかる費用として、「社会保障国民会議」の「消費税換算額」の試算を示したうえで、給付付き児童・勤労税額控除や所得保障付き職業能力開発制度など雇用・生活保障のセーフティネット構築のため、向こう3年間で取り組む10の緊急施策をあげ、これらの課題にかかる経済財政諮問会議の試算を紹介している。

3 政府は昨年来、世界不況に対応する数次の経済対策を打ってきたが、将来的な追加負担の可能性を示さないうまま、政策効果が疑われる施策のために膨大な予算を組んできた。

麻生政権は、理念も哲学もない「バラマキ予算」に合

理性を与える根拠として安心社会実現会議の報告を利用し、「消費税を含む税制改革への行程を示す必要がある」との記述をとらえて、増税論議が不可避であると世論を誘導しようとの思惑であろう。

我々勤労者も含めて国民の疑心は、「亡国の予算」で膨らませた赤字のツケを、いずれ増税して払わせられるのではないかというものである。ムダ遣いの構造を温存したままでは、国民が政府を信頼し「安心社会実現への役割と責任」を担う気にはなれない。

4 近くまとめられる「骨太方針2009」原案は、社会保障制度の「ほころび」の早急な修復と「雇用を軸とした安心社会」の実現を課題にあげ、報告書に沿ったものとなっている。

しかしそれには、雇用や医療・介護・年金など社会保障の充実のため、小手先ではない制度設計と必要な費用、負担と給付のあり方など、実現に向けた道筋を国民の前に示し説明しなければならない。

5 国民・勤労者にとって安心・信頼の福祉・雇用政策、地域中小企業や第一次産業が生きる産業政策を提示する政党こそが、政権を担当すべきである。

連合北海道は、「労働を中心とした福祉型社会」を求め、産別・地域そして道民とともに活動し、国や道への提言を行ってきた。そして、その政策実現のため、今こそ総選挙を通じて勤労者・有権者・国民の力と声を結集する時である。

以上

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2009/danwa_090619_anshinshakai.html

エコバッジの作成について

1 趣 旨

連合「エコライフ21」では、地球温暖化対策として、エコスタイル(クール・ビズ&ウォーム・ビズ)の実施を提起しています。しかし、エコスタイルによるノーネクタイ、開襟シャツ、その他軽装は認知されつつありますが、会議や面談の場ではTP0に合致しないと考えられています。そこでこれらの軽装時に「Eco Life」と書かれたバッジを着用し、環境に配慮したエコスタイルであることを意思表示するために着用します。また、組合員がエコスタイルをしやすい環境を整えることにより、「エコライフ21」のより一層の推進をはかります。

2 作成スケジュール

7月10日に集約し、7月17日各組織に到着予定。

3 価 格

1つ120円。(1万個作成の場合)

4 バッジデザイン

右図参照真鍮製・ワニグチクリップ(ワイシャツなどに挟み込む着用方式)

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/090701_ecobadge.html



連合北海道20周年記念「スローガン」の募集について

連合北海道は1990年2月に「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を合言葉に、官民の労働戦線を統一してから2010年2月に結成20周年を迎えます。

この20年は、多くの先輩、組合員、家族および連合北海道に関わる多くの人々に支えられてきた歴史でもあります。

結成20周年の目的は、「この20年の北海道における連合運動の歴史を再確認し、学び、大きく変化する社会・経済状況の中で、労働運動が果たす役割・展望と

次なる飛躍に向けた意志結集をはかる（連合北海道第20回定期大会確認）ことにあり、20年の総括に基づき、今後の労働運動の発展に資することが重要です。

つきましては、連合北海道20年の意義と新たな労働運動の役割・決意を象徴するスローガンを組織全体で共有し、更なる飛躍を図るため下記のとおり募集を行いますので組合員のご協力をお願いいたします。

記

1 募集資格

連合組合員とし、1人1点とする。

2 募集必要事項

組合員氏名・性別・産別名・単組名・電話番号を記入する。

3 送付先

規定の用紙(連合北海道ホームページに掲載)を利用するか必要事項を記入(用紙自由)し、連合北海道に郵送またはFAXで送付する。

郵送の場合：〒060 - 8616 札幌市中央区北4条西12丁目

ほくろビル6F 連合北海道結成20周年記念事業実行委員会宛

FAXの場合：011 - 272 - 2255

4 募集期間

2009年6月3日～7月31日(必着)

5 決定・入選

プロジェクトチーム(PT)で検討後、2009年8月の執行委員会において決定する。

最優秀作品 1点 (5万円相当の記念品)

優秀作品 3点 (1万円相当の記念品)

参加者全員に記念品を贈呈する。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/event/20memory_slogan.html



7月の主な動き

第33回全道勤労者総合文化祭開幕

1日(水)10:00 / 札幌市民ギャラリー

北海道「農」ネットワーク

5日(日)13:30 / ホテルニューオオタニ

第2回最低賃金対策委員会

7日(火)13:30 / 連合北海道会議室

連合タウンミーティング

9日(木)18:00 / 札幌京王プラザホテル

青年委員会産別・地協・地区代表者会議

11日(土)13:00 / かでの2・7

政府予算への中央要請行動

13日(月)20:10

第22回中央執行委員会

16日(木)13:30 / 総評会館

常駐者会議

22日(火)10:00 / 連合北海道会議室

第9回執行委員会

23日(水)10:30 / 連合北海道会議室

第8回地協事務局長会議

23日(水)13:30 / 連合北海道会議室

連合第5回組織拡大小委員会

27日(月)15:00 / 総評会館

毎回大好評の組合員特別優待クーポン誌

ゆに・ぽん 夏休み版

道内のアミューズメントやホテル、ロッジなどが特別価格で利用できます。

好評配布中！
これからの旅行シーズンにぜひお役立てください。

